

	氏名	委嘱期間	肩書等	就任
1	水戸英樹	R8.4.1 ~ R12.3.31	映画監督 士別出身 1993年「ストレンジハイ」でPFFアワードグランプリ、1996年「脳の休日」でゆうばり映画祭オフィアターグランプリを受賞した。2000年には士別地方でロケーションした「ホームシック」をベルリン国際映画祭などに出品している。	H11～
2	帖佐寛章	R8.4.1 ~ R12.3.31	日本陸上競技連盟顧問 日本体育協会でも理事や国体委員長などを歴任 順天堂大学名誉教授 「士別ハーフマラソン大会」の生みの親でもあり、士別市が進める「スポーツ合宿の里」づくりに多大なる力添えをいただいていた。	H11～
3	高谷雅史	R8.4.1 ~ R12.3.31	同友会グループ総代 士別でのスポーツ合宿のスタートとなった順天堂大学と本市のつながりに深いかわりを持つ。	H11～
4	松井エイコ	R8.4.1 ~ R12.3.31	壁画家 士別市立北星保育所や「ふれあいの道公園」のガラスモザイク壁画、上士別小・中学校のモザイクステンドグラス、市役所本庁舎3階のガラスモザイク壁画「いのち育むまち」を制作していただいた。	H11～
5	小林敬生	R8.4.1 ~ R12.3.31	木版画家 多摩美術大学名誉教授 一般社団法人日本版画協会理事長在任中、同協会の巡回展開催にあわせて毎年のように来市され、士別をお気に入りの一つにいただいている。「蘇生の刻-緑の星・B-」などの寄贈もいただいた。	H11～
6	増田明美	R8.4.1 ~ R12.3.31	スポーツジャーナリスト 現役時代は、夏の士別をひたすら走って汗を流し、宿舎の近くにある不動尊の滝で乾いたノドを潤した。引退後も、士別ハーフマラソン大会のゲストランナーや講演会などで多数来市されている。	H11～
7	畠山みどり	R8.4.1 ~ R12.3.31	演歌歌手 6歳から17歳まで士別市で過ごす。 「出世街道」、「恋は神代の昔から」などの代表曲を持つ。 平成21年、平成27年に「畠山みどりふるさとに歌う」と題し、コンサートを実施していただいた。	H21～
8	松田惺山	R8.4.1 ~ R12.3.31	鬼太鼓座代表 尺八奏者 合宿のため本市に1週間ほど滞在ののち、ツアーの初日をあさひサンライズホールで開催することが続いている。 本市に滞在している間には、地元のアマチュア奏者や学校等のワークショップを実施するなど地域との交流も積極的に行っていた。	H20～
9	岡田純一	R8.4.1 ~ R12.3.31	早稲田大学スポーツ科学学術院教授 公益社団法人日本ウエイトリフティング協会常務理事 早稲田大学ウエイトリフティング部監督 士別出身 士別高校在学時にはインターハイで全国初制覇、早稲田大学在学時には全日本ジュニア選手権や全日本学生個人戦などで優勝するなど、輝かしい成績を残した。 スポーツ医学のスペシャリストとしての幅広い人脈と指導力で本市の「合宿の聖地」づくりを支援いただいている。	H28～
10	ガ-リィレコードチャンネル	R8.4.1 ~ R12.3.31	お笑い芸人（吉本興業株式会社所属） YouTubeチャンネルはチャンネル登録者数100万人を超える大人気グループ。 メンバーの高井佳佑さんは、剣淵町出身、士別翔雲高校卒業。 令和元年度にはグループで士別ビートまつりにゲストとして参加、イベントを盛り上げていただいた。	R4.4.1～
11	野島梨恵	R8.4.1 ~ R12.3.31	新都心法律事務所所長 元弁護士法人木村正和法律事務所士別支部弁護士 士別地方を中心に弁護士活動を行ってきたほか、成年後見人制度等の重要性を訴えるために名寄市と士別市の弁護士の会を設け、寸劇などを通じた制度の周知を図る活動を行っていた。	R4.9.29～
12	佐々木六戈	R8.4.1 ~ R12.3.31	句歌詩人 士別出身 2000年に「百回忌」にて第46回角川短歌賞受賞。2001年よりNHKカルチャーセンター一八王子にて講座「俳句」をコロナ禍まで担当。岡山県立操山中学校・高校にて「文化としての表現講座」特別講師を十余年にわたり参画。 著書に『セレクション俳人14 佐々木六戈集』『セレクション歌人佐々木六戈集』共著『現代俳句最前線上巻』編著『花鳥一年』等がある。	R8.4.1～

※就任は旧ふるさと大使を含む

【退任者】

	氏名	委嘱期間	肩書等	就任
	澤木啓祐	R4.4.1 ~ R8.3.31	順天堂大学スポーツ科学特任教授 順天堂大学陸上部名誉総監督	H11～
	輪島功一	R4.4.1 ~ R8.3.31	元プロボクサー	H22～
	和泉雅子	R4.4.1 ~ R7.7.9	女優 冒険家	H27～